金沢市の無電柱化推進に向けた取組みについて





令和7年10月1日

金沢市

1 金沢市概要

金沢市概要











積 468.81km² 面

454,312人 (R7.8.1現在 推計)

世帯数 214,426世帯 (R7.8.1現在 推計)



歴史遺産群 (重伝建地区)

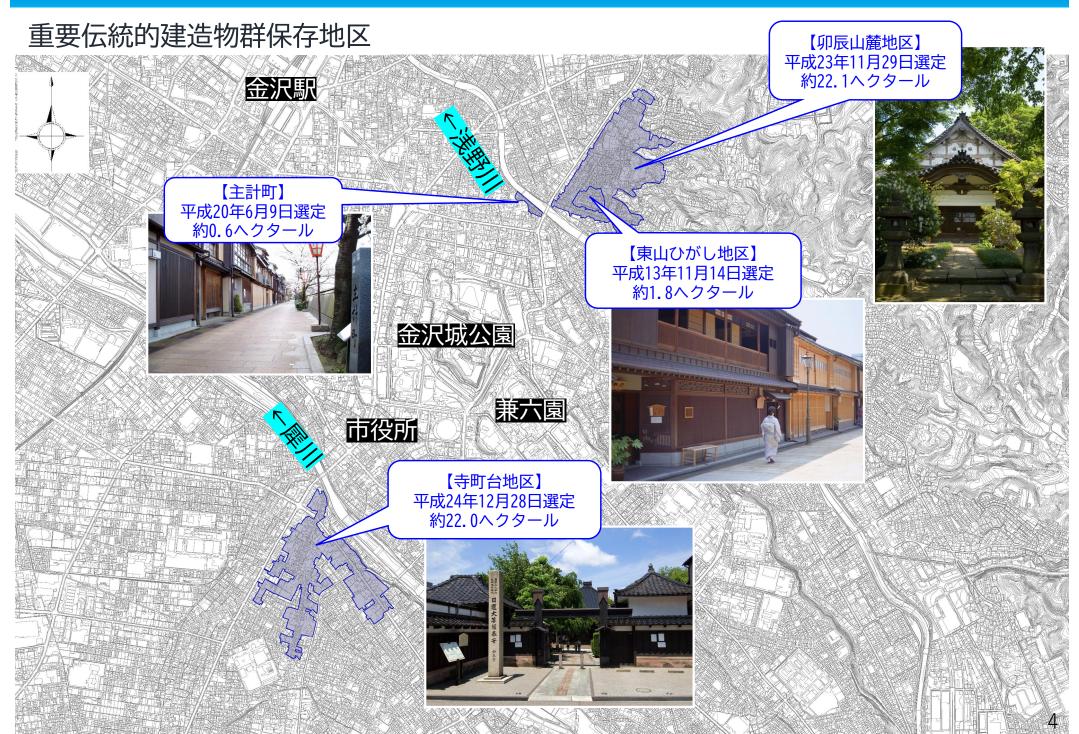








1 金沢市概要



金沢城跡・兼六園を核とする旧城下町並びに市街地の背景として一体で連なる自然、地形の特徴を顕著に示す台地、丘陵の一部を含む区域を重点区域の位 置とし、区域は「景観条例」に基づく景観形成区域のうち、重要文化財建造物等が集積する範囲とする。

また、歴史的風致の維持及び向上に関する4つの方針に基づき、施策・事業を展開する。

1. 歴史的建造物の積極的な保全と活用に関する事業

(1)-01:金沢城公園整備事業 国史跡金沢城跡保存活用計画に 基づき、丸の内園地石垣の保全対 策と「二の丸御殿」の復元整備を目 指した取り組みを行う。



(1)-04: 伝統的寺社建造物條復事業 寺社風景保全区域における寺社等の 建物、土塀、山門、石積みの修復に 対し助成を行う。



2. 歴史的街並みの保全に関する事業

(2)-02:旧鶴来街道(県道~大斗の 広見、蛤坂)無電柱化事業

寺町台伝建地区内にある、県道~ 六斗の広見、蛤坂について無電柱 化及び道路修畳により、町家や寺社 が建並ぶ歴史的街並みの保全を図



3. 歴史的建造物の周辺環境の保全に関する事業

(3)-05:人材育成事業

外国人旅行者に対する観光案内の ため、一般市民ガイドを対象とし、歴 史的風致の内容を「正しく」、「分かり やすく」説明するための研修会を開 催し、外国語能力の向上を図る。



実施研修

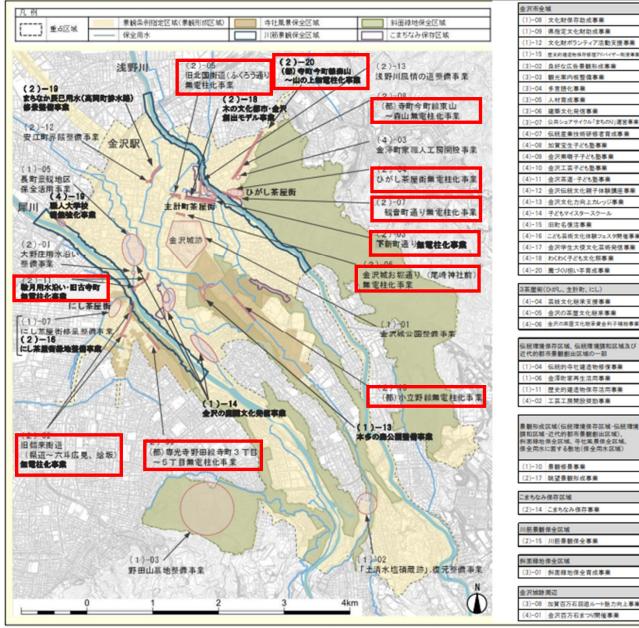
4. 伝統行事、伝統文化及び工芸技術の継承、後継者 の育成に関する事業

(4)-08:加賀宝生子ども塾

市内の小中学生を対象に、金沢市 指定無形文化財である加賀宝生を 月2回の割合で2年間教える。

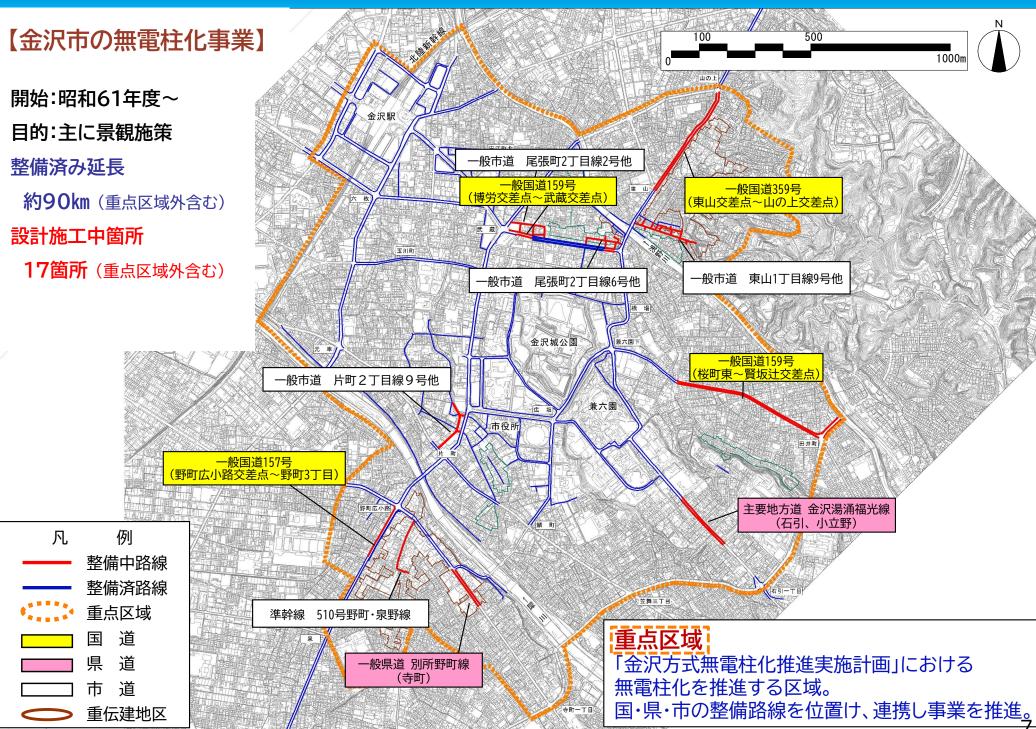


百万石薪能出演風景



2 無電柱化の整備

2 無電柱化の整備



2 無電柱化の整備(重点整備エリア)



2 無電柱化の整備

【全体像】

『無電柱化による魅力あふれるまち・金沢』

【基本方針】

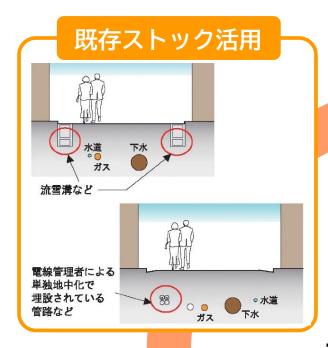
景観・歴史まちづくり、観光・商業まちづくり、安全・安心まちづくり

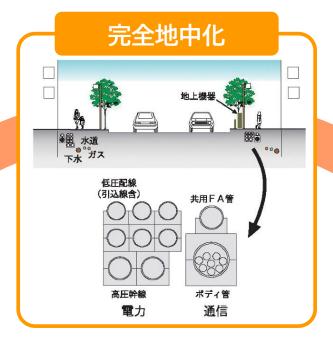
【路線の再評価】

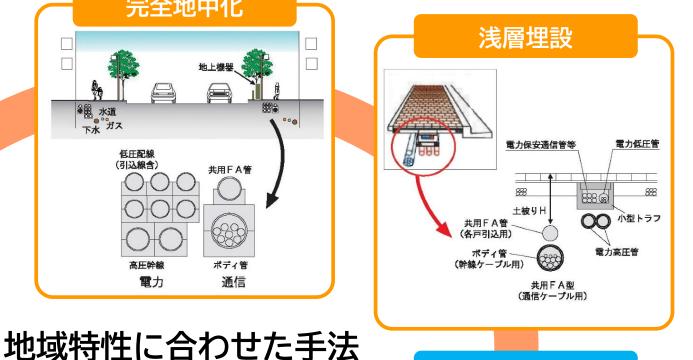
- ・「未整備路線」の29路線を対象に評価項目を設定し、路線の再評価。
- ・評価の視点は、「路線評価」と「事業性評価」の2つ

路線評価										事業性評価					
景観・歴史まちづくり				観光・商業まちづくり			安全・安心まちづくり		金沢市重点戦略計画 (重点的に取り組む施策)		無 (電整 柱備	協定	関連事		
文化 金沢城惣構跡(市史跡)沿い 金沢城跡周辺(国史跡)	自然では、一個では、「は、一個では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、」では、「は、、、、、、、、、、	, 景間 京亚 彳	旧町名復活	金沢の建築文化発信 本沢の建築文化発信 計 いし曳きの道(小立野寺院群) おります。 一方の道(卯辰山麓寺院群) おります。 本別の建築文化発信	下町金沢周	或 有 号	緊急輸送道路	避難経路(避難所又は指定避難場所沿い)自転車利用環境の整備(自転車ネットワーク路線)	景観・歴史まちづくり (桜橋詰・寺町台界隈・建築文化の発信)	安全・安心なまちづくり	観光・商業まちづくり(駅西界隈・建築文化)	1化の連続性 (おり) (おり) (おり) (おり) (おり) (おり) (おり) (おり)	まちづくり協定 おちづくり協立 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
※最も高い配点の1つを計上 -	※いずれか該当 -		_	※いずれか該当 –	※いずれか -	-			-	-	-	片側 両側	※いずれ	かー	

無電柱化の整備(整備手法)





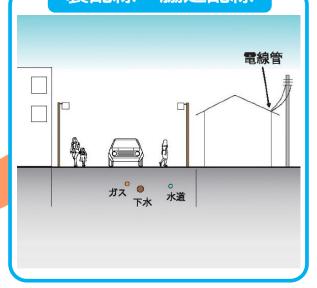


ソフト地中化





裏配線・脇道配線



3 整備事例

(主計町無電柱化事業)



整備前

~完全地中化~



整備後

第1回 ワークショップ

地区の現状と課題、整備イメージ、基本方針など

第2回 ワークショップ

無電柱化方式の検討など



整備課題と解決策、計画案の検討など

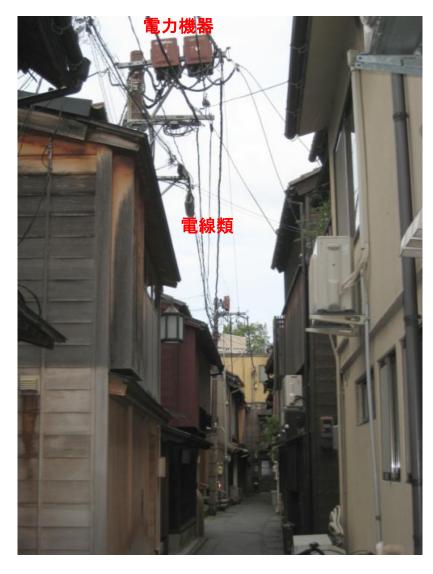
第4回 ワークショップ

基本計画の策定

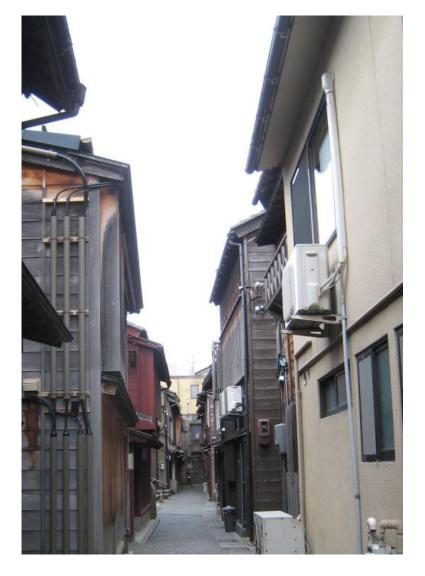


※<mark>ワークショップ</mark>とは、地区住民が主体となって、有識者や市などとともにより良い整備の方法について話し合い、検討していく方法のこと

~軒下配線方式~







整備前

整備後



4 無電柱化の効果

4 無電柱化の効果

「歴史的街並みの保全」「修景整備」の主要事業の1つとして 無電柱化事業を実施



来街者の増加・満足度に寄与

- <参考> 1. 昨年の外国人宿泊者増加率 約2.4倍(都道府県別全国1位)
 - 2. 来街者は「歴史風情のある街歩き」などに期待

「美しく古い街並みが残っている」ことなどを評価

- < R6 金沢市観光調査結果(外国人1,105人件)>
 - ◇ 金沢に期待していたこと (満足度)
 - 1.「日本食を食べること」82.8%(81.0%)
 - 2. 「歴史風情のある街歩き」74.7%(71.4%)
 - 3. 「史跡・名所観光」73.2% (72.6%)
 - ◇ 金沢全体の印象(自由回答)
 - ・美しい街 ・古い街並が残っていて街がきれい ・歴史を感じる
 - ・日本の伝統が残っている ・伝統と新しいもののバランスがとれている

5 無電柱化の推進に向けて

(電線管理者との連携) (様々な補助メニューの活用)

5 無電柱化の推進に向けて

【電線管理者との連携】

「官民連携による金沢方式無電柱化事業の推進に関する覚書」の締結(R4.3.23) →金沢方式無電柱化推進実施計画に基づく無電柱化事業について電線管理者と相互 に連携し、より一層の推進を図っていく。

締結団体

電気事業者 (1計)

北陸電力送配電株式会社

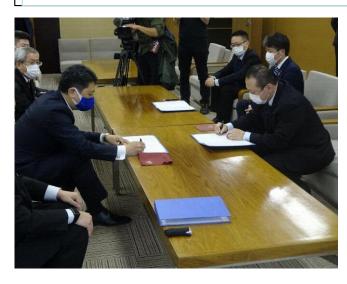
電気通信事業者 (7社)

西日本電信電話株式会社

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

株式会社NTTドコモ・金沢ケーブル株式会社・キャンシステム株式会社

北陸通信ネットワーク株式会社・株式会社USEN

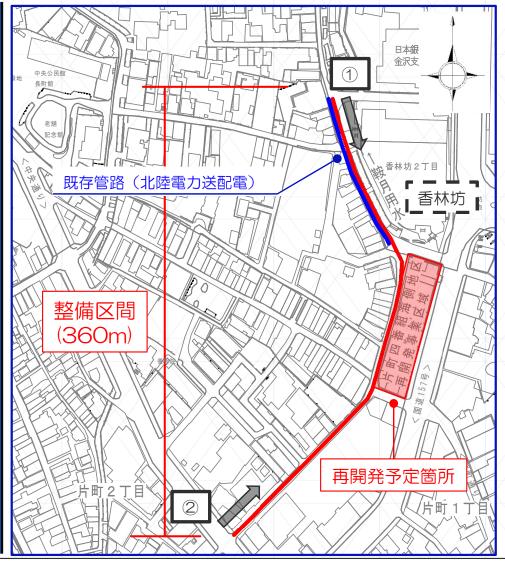






5 無電柱化の推進に向けて(電線管理者との連携)

鞍月用水沿い・旧古寺町通りにおける既存管路の活用



位置図

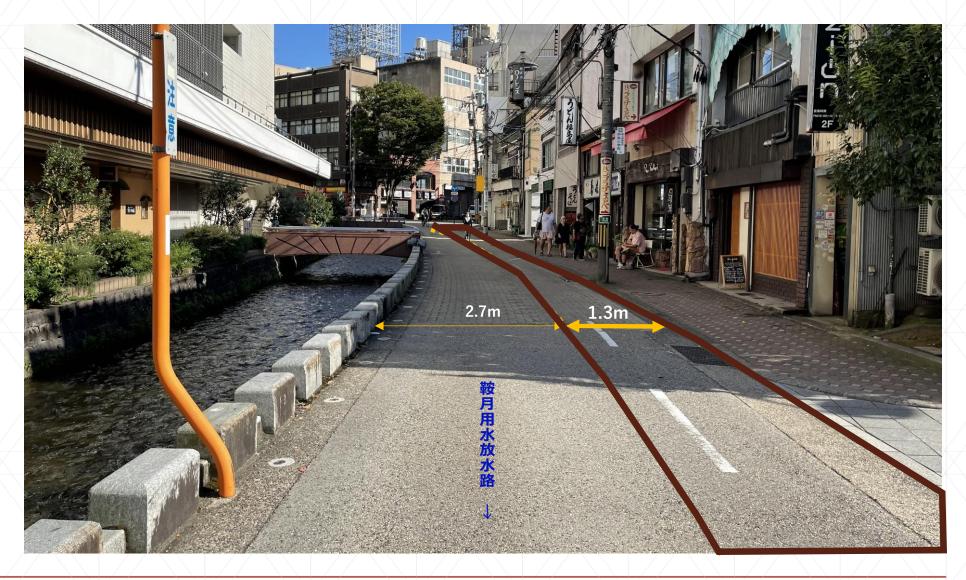




- 施工スペースが狭い(道路幅員:2.6~4.2m)
- 埋設管が多数あり(埋設物:放水路、下水、水道、ガス、電力管)
- 沿線に再開発事業の計画あり(無電柱化法により無電柱化が必要)
- 電力消費の多いビルが林立している(電気機器の消費電力50kw以上の建物:約10棟)

5 無電柱化の推進に向けて(電線管理者との連携)

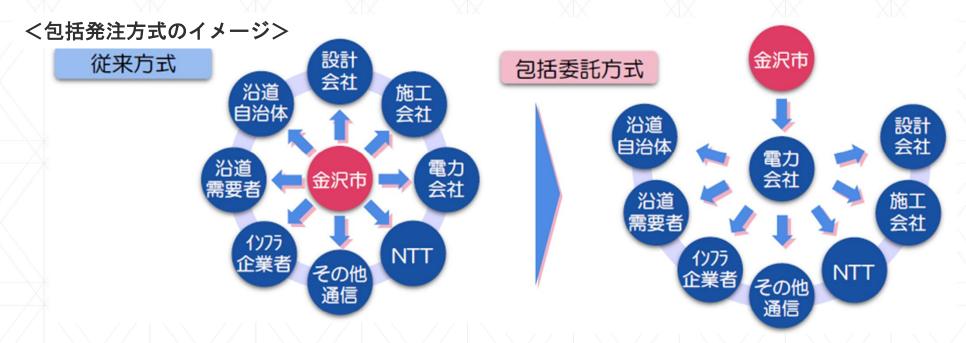
鞍月用水沿い・旧古寺町通り(道路状況)



5 無電柱化の推進に向けて(電線管理者との連携)

(1)包括発注委託とは

金沢市が実施している設計、施工および関係者との協議等を電線管理者が包括的に、ワンストップで実施する事業



(2)包括発注委託理由

- 1. <u>保安上十分な対策が必要なため</u> (既存ストックには高圧管、低圧管があるため)
- 2. 電力事業者の技術ノウハウの活用が必要なため (沿線高圧受電者の対応等)

5 無電柱化の整備(様々な補助メニューの活用)

- 〇活用してきた補助メニュー
 - ・【防災・安全交付金】
 - ·【官民連携無電柱化支援事業】
- ○現在活用中の補助メニュー
 - 【無電柱化推進計画事業補助】
 - ・【都市構造再編集中支援事業】



対象:電線共同溝、要請者負担

補助率:5.5/10

対象: 単独地中化

補助率:2/3

対象:電線共同溝、要請者負担

補助率:5.5/10

対象:電線共同溝、要請者負担、自治体管路

対象:電線共同溝、単独地中化

補助率:5.0/10

〇今後さらに活用を検討している補助メニュー

【観光地域振興無電柱化推進事業】

→ <間接補助拡大 R6.10月~>

電線管理者費用負担分(電柱撤去費用等)の1/2が追加【電線共同溝】

※ 国⇒地方公共団体⇒電線管理者

<活用について各電線管理者と協議>

→ 電線管理者が活用に同意!

ご清聴ありがとうございました









金沢市